様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 5 月 31 日

１ 事業名	母子健康診査事業			コード	43105
２ 担当部課	部等	健康福祉部	課等	健康推進課	作成者 百瀬ひろみ

３ 事業概要	目的体系 基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
	政　策	保健・医療の充実	施　策	母子保健の充実
	予算科目	乳児健康診査事業費	業務委託	なし（直営）
	実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
	根拠法令	母子保健法		

●事業の内容（DO）

４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		妊婦及び乳幼児の健康の保持増進を図ることを目的に、疾病の早期発見のための健康診査を行うとともに、必要な保健指導を行った。
目的	対象者	妊産婦・乳幼児とその家族
	意　図	妊産婦・乳幼児の健康の保持増進を図る

５ 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

１．妊婦一般健康診査：妊娠中の健康診査（基本健康診査・追加検査・超音波検査）を、長野県医師会及び長野県助産師会に委託し実施した。

＜健診内容＞問診及び診察・血液検査・尿検査・超音波検査等

＜受診状況＞　・受診券交付人数　326人
・健診受診実人数　514人
・基本健診延受診回数　3,722回
・追加検査延受診回数　1,533回
・超音波検査延受診回数　1,222回

２．妊婦一般健康診査県外受診補助：母体及び胎児の継続的な健康管理を行うため、里帰り等により県外で妊婦一般健康診査を受診した費用について助成を行った。

＜県外受診補助金申請者＞　29人　※延受診回数　97回　＜補助金支給合計額＞　939,734円

３．乳幼児健康診査　：岡谷市医師会及び岡谷下諏訪歯科医師会の協力のもと、乳児（３～４か月児、９～１０か月児）及び幼児（１歳６か月児、３歳児）を対象とした健康診査を毎月１回実施した。

＜実施場所＞岡谷市保健センター

＜内容＞　乳児健診：医師による診察　身体測定　問診　個別指導　栄養相談　母性相談
幼児健診：集団指導（栄養・歯科）医師・歯科医師による診察　身体計測　問診　個別指導（心理・歯科・栄養）　3歳児の視聴覚検査・尿検査

＜受診状況＞

３～４か月児健診	該当児数 357人	受診児数 348人	受診率 97.5%
９～１０か月児健診	該当児数 358人	受診児数 348人	受診率 97.2%
１歳６か月児健診	該当児数 348人	受診児数 341人	受診率 98.0%
３歳児健診	該当児数 368人	受診児数 360人	受診率 97.8%

前年度の課題への対応	健診後のカンファレンスで要フォローとなったケースのうち、必要な場合は支援プランを作成し、地区担当保健師と母子保健コーディネーターとでフォロー対応する体制をとった。

６ 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 活動指標（指標名）	健診受診者数			単位 人
実績値	8,662	8,908	7,971	
＊指標の説明	妊婦健診・乳幼児健診の受診者数			
② 成果指標（指標名）	健診受診率			単位 %
目標値	100	100	100	100
実績値	97	97	98	
達成度	96.9%	97.5%	98.0%	
＊指標の説明	乳児健診・１歳６か月児健診・３歳児健診の受診者数/対象者			
＊目標値の設定方法の説明	実績値を参考に１００％を目標設定			

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	41,020,724	42,962,175	38,343,090	51,524,000
経常経費	41,020,724	42,962,175	38,343,090	51,524,000
臨時的経費	0	0	0	0
＊臨時的経費の説明				

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費		9,840,000	9,840,000	9,440,000	9,440,000
正規職員の人数（人）		1.23	1.23	1.18	1.18
③ 合計コスト（①＋②）		50,860,724	52,802,175	47,783,090	60,964,000
前年度比			103.8%	90.5%	127.6%
財源内訳	一般財源	50,860,724	52,802,175	47,783,090	60,964,000
	特定財源	0	0	0	0
＊特定財源の説明					
④ 活動一単位あたりコスト		5,872	5,928	5,995	
前年度比			101.0%	101.1%	
⑤ コストに関する補足説明					

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
妊婦一般健康診査県外受診補助金	件数	23	28	29	27
	金額	805,850	697,774	939,734	1,368,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	805,850	697,774	939,734	1,368,000
	割合	1.96%	1.62%	2.45%	2.66%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性　高い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性　標準**

評価項目		はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。		1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。		1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値　前年度比　100.5%	1	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値　達成度　98.0%		0

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） ①乳幼児健診時の個別指導の増加（全数の母性相談や栄養・歯科指導）、主任児童委員の訪問受付等により、該当児数によっては、待ち時間の延長や健診全体の流れへの影響がある。受診者に負担のないスムーズな健診となるよう、健診会場での案内の明確化や待ち時間を配慮した対応を心がける必要がある。 ②問診担当者、健診担当者によって、要フォロー者への対応（支援方法・時期等）にばらつきがあ
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） ①健診会場での案内表示の改善、該当者数に応じた健診流れの変更等状況に応じた臨機応変の対応を、健診当日かかわるスタッフ全員が心がける。 ②必要者に対して適切なフォローが実施できるよう、健診後のカンファレンスの充実を図る。（スタッフによる個人差の解消のためフォローマニュアル確認、カンファレンスでの活発な意見交換や情報の共有等）
改善開始時期	平成29年4月

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B